

上電友の会だより

(空っ風通信) 第2号



Joden Supporters Club

赤城山麓を走る電車

上電が設立されたのは大正15年(1926年)の5月27日。

84周年を迎えた2010年の設立記念日に、地域の足である上毛電鉄の末永い運行を目指して「上毛電鉄友の会」は発足いたしました。

今年は友の会発足2年目。これからもみんなでサポートして上電を盛り上げよう！

挨

友の会第2号発刊にあたって

上毛電鉄友の会 代表
大島 登志彦



上毛電鉄友の会会報第2号が発刊されるに際して、会員の皆様や、平素から地域の足として安全運転に丸となって取り組んでおられる上毛電鉄(以下上電)の社員の皆様に感謝申し上げます。

本会は、上電の運行支援や活性化などに寄与していくことを目的に、上電創立84周年に当たる2010年5月27日に創始し、1年余り活動してきました。この間、8月・10月・1月などに行われた会員のイベントに、新春トークショーなど一部の自主企画も含めて参加したり、独自のスタンプラリー、県庁での上電関係資料のミニ展示など行ってきました。おかげさまで、2年目に入った昨今、会員数は百人を超え、一層の上電利用者の増加に向けた支援活動を続けたいと思います。

また、独自の企画として、本誌にも概要を紹介するように、昨年に続いてのスタンプラリーや上電イベントへの参加と協力、新たな企画として、友の会主導によるハイキング(11月に足尾方面を予定)のほか、直近の節目である会社創立90周年に向けた長期的な企画として、社史(上毛電鉄90年史)の編纂に取り組むと考えています。会員や社員の方々におかれましては一層のご協力とご支援をお願い申し上げます。

企

8/20 ビール電車出発進行！

会員交流イベントとして、貸切デハ101でビール電車運行！

- 運行日時 : 8月20日(土) 夕方～夜間
(詳細は決定し次第、友の会ホームページに掲載)
- 募集定員 : 応募者多数の場合は抽選(友の会会員のみ対象)
- 会費 : 4000円(未成年者など飲食なし2500円)
- 申込方法 : ①氏名、②連絡先、③申込人数を明記し
メール(joden-support@kl.wind.ne.jp)まで
お申し込みください。詳細・手続きについては、
後日お知らせいたします。



実は、友の会の発足準備をしていた平成22年1月に行ったお試企画。冬だったので寒かった記憶が大きいです。車内には冷房はありませんので、今回は夕刻涼くなってから運行します。ビール電車という企画をご理解いただき、未成年の方はご両親など成年の方がご同伴ください。また、デハ101にはトイレがありませんので、節度をもった飲食をお願いします。

また、9月末まで群馬デスティネーション・キャンペーンを開催中です。これを機会にぜひ上毛電鉄や沿線の観光スポットをお楽しみください。

活

今後の活動スケジュール

2011年度		随時、中長期、年次企画
9/4 (Sun)	上電友の会企画クイズ大会とイベントサポート (上毛電鉄感謝フェア イベント2011)	○随時 ・沿線歩け大会のサポート ・沿線清掃活動 ・会員募集 (沿線の学校への訪問、チラシ布、コミュニティFM等の活用)
9/18 (Sun)	友の会会員募集 (中小私鉄フェア in 上信電鉄)	○中長期 ・上毛電鉄90年史資料収集 (創立90年の、平成28年5月27日に向けた資料収集)
11月 中旬	クリスマストレインの飾り付けサポート	○年次 ・総会 (毎年5月下旬・車両貸切)
11月 下旬	友の会ハイキング (足尾方面・後日 HP 上で募集)	○時期未定企画 ・沿線花いっぱい活動 ・サイクルトレインの利用促進
2012年 1/3 (Tue)	新春イベント2012 イベントサポート トークショー	
1月	上電友の会だより 冬号発行	

印

友の会スタンプラリーのお知らせ

10月～12月にスタンプラリーを
昨年に引き続いて実施！

- 主催 : 上毛電鉄友の会
- 実施期間 : 平成23年10月1日
～12月15日
- 企画内容

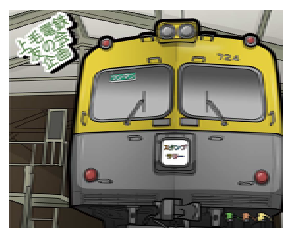
上電おなじみの「赤城南麓フリー切符」または鉄道の日記念乗車券「ワンデーフリーパス」を購入いただいた皆様に、ラリー台紙をお渡しして上電の各所に配置したスタンプをラリーしてお楽しみ頂きます。

5つ以上のスタンプを押印してご応募いただくと、抽選で20名様にすてきな上電グッズをプレゼント！

また、全てのスタンプを押印して、クイズに全問正解すると、これまた抽選でさらにすてきなプレゼントを5名様にお贈りします。

今年は去年よりグーッとラリーのハードルを下げさせていただきましたので、皆様ふるってご参加ください。ご応募お待ちしております。

※実施内容は変更することがあります。詳細はHPでお知らせします。



暑中お見舞い
申しあげます



総

総会が開催されました

昨年、本会が設立してから、あっという間に1年が経過しました。

平成 23 年は、設立記念日の5月27日(金)に、大胡車庫デハ101車内で総会を開催しました。当日は、大島代表ほか役員、会員十数名が出席し、上毛電鉄社長の古澤社長から祝辞を賜りました。

事務局から議案として、昨年の活動内容(友の会会報発行、スタンプラリー、新春トークショー、クイズの実施、チラシの発行など)が報告されたとともに、今年度の活動計画についても説明があり、決算、予算、今年度の活動計画、役員案など、議案はすべて全会一致で承認されました。

今年度も市民活動の一環として、ビール電車、ハイキングなど新企画や、会員募集チラシの配布などを通して、上毛電鉄をサポートする活動を継続いたします。イベント時には友の会ブースも設けますので、ぜひ一緒に活動しましょう。

なお、現在の会員数は、個人130、団体1、法人4です。

言

新春トークショーレポート

去る1月3日、
上電新春イベント2011の一環で
新春トークショーを行いました。

■パネラー

花上 嘉成(東武博物館・館長)
佐羽 宏之(2015年の公共交通をつくる会・会長)
古澤 和秋(上毛電鉄・取締役社長)
大島 登志彦(高崎経済大・教授)友の会代表



午前と午後の2回行われ、前半では「上電の魅力と鉄道趣味」、後半では「市民活動と地方鉄道再生策」というテーマでそれぞれ進められた。

まず前半では上電の魅力について、かつて大手私鉄で走っていた車両が現役で走っており、それが昔ながらの鉄道ファンを引きつけていると大島、花上両氏は口を揃えた。そして古澤氏からは車両から見える赤城山や四季の花々などのどかな風景も沿線の魅力なのではないかと話があった。

これに続いて上電が持つ魅力を多くの人々に知ってもらうことの大切さについて話題となり、首都圏の方々だけでなく沿線住民にも鉄道という魅力的な資源があることに気づいて欲しいと訴えた。

最後にイベントを通して、お客さまとの交流を深めてもらうことでもっと魅力を感じてもらいたい。社員一丸となって取り組んでいきたいと古澤氏からの言葉で前半のトークショーは締めくくられた。(前半進行:新保)

後半は地方鉄道再生策について、まず大島氏より上電の利用者が減少したのは前橋東高の統合等によるところが大きいと指摘し、それに続いて佐羽氏よりわたらせ渓谷鐵道での取組から市民の意識付けが大切であるという意見が出た。これを受けて古澤氏はハード面等では行政からの支援を受けて整いつつある中、市民活動の中核となる上電友の会が立ち上がったのはとてもありがたい。私の中では昨年の10大ニュースのトップであると述べた。

また再生策について、花上氏から外からの意見は重要であり、イベントだけでなく沿線利用を増やす地道な努力が大切であると指摘があった。また佐羽氏からはわたらせ渓谷鐵道では東京からの乗客が増えたことで沿線住民の意識が変わり、取組が進んだことを紹介された。大島氏より、商店街など鉄道を降りた先にある組織との連携が大切であると。花上氏より会社は違って鉄道は必ずどこかでつながっている。各社が協調すればもっと使いやすい移動手段になるのではないかと提案があった。

最後に、古澤氏よりお客様を増やす策を打っているがトータルでなかなか有効な手立てがない中、存続そして活性化に向けて友の会と一生懸命タッグを組んでいきたいとの言葉で後半のトークショーは締めくくられた。(後半進行:稲垣)

編集後記

友の会が設立されてから1年余りがたちました。今年度につきましては、昨年できなかった事もふくめ、積極的に活動していけたらと思います。ビール電車もその一環ですので、ご都合のつく方は是非ご参加いただければと思います。

上電友の会よりも2号目となりました。編集という作業が、思っていたよりも時間のかかる作業だということも実感しました。恐らく私が不慣れなだけかとはおもいますが、こちらの友の会よりも、友の会の活動とどうよう末永く、そして段々と発展していけたらと思います。(児玉)

絵

上電友の会のマスコットのコンセプトと解説

2人のマスコットが上電友の会にはいます。
そのマスコットキャラをご紹介します。

「赤城いずみちゃん」

友の会にもマスコットキャラがほしかったので、現場で働く女性社員をイメージしています。入社してそんなに経っていないのに、役職は課長補佐となっています。多少おっちょこちょいな面もありますが、毎日がんばって皆さんのサポートをしています。当初は上電ちゃん(仮称)という名前でしたが、公募により、上毛電鉄から見える赤城山の「あかぎ」と上泉駅の「いずみ」から「赤城 いずみ」ちゃんとなりました。



赤城いずみちゃん

「デハ君(仮名)」

デハ 101 系の精霊的な感じの男の子。
昭和 3 年生まれの高豪ですが、
外見は年老いても中身は子供という設定です。
中身が純粋な分、子供たちとも仲良くやっています。
語尾は「〜でござる」「〜じゃ」でちょっと子供っぽくない? デハ君(仮名)
この辺は高豪ですから…(笑)
上州の野武士ということで、和服に木刀という格好をしています。
ちゃんばら遊びが好きです。
ただいま名前を募集しておりますので、是非デハ君に名前をつけて下さい。



訪

電鈴式踏切を訪ねて

電鈴式と呼ばれる踏切が

上毛電鉄には、あります。
その踏切は、桐生市内にある
富士山下駅すぐ側、
渡良瀬川寄りにあります。



電鈴式の、第 104 号踏切

通常今の踏切はスピーカーから電子音を流していますが、この踏切は実際にベルを鳴らしています。過去には日本中で多く活躍していたそうですが、騒音対策などの問題から JR や大手私鉄では姿を消し、地方鉄道でも段々減少しているようです。上毛電鉄でも、電鈴式踏切が存在するのは唯一ここだけとなっています。

富士山下駅で下車し、電鈴式踏切の第104号踏切へ向かいます。ダイヤの都合上しばらく待つ必要があります。およそ 15 分程度の待ち時間です。しばらく待っていると電子音とは違う、「カンカン」という音が響いてきます。どこか懐かしさの漂う音です。

近辺の鉄道にはあまり電鈴式踏切がないからでしょうか、私の他にも電鈴式踏切を撮影されている方がいらっしゃいました。是非、懐かしい音を聴きに富士山下駅を訪れてはいかがでしょうか。(児玉)

募

会員のひろば投稿募集

会員交流の場である、会員のひろばの投稿を募集しております。皆さんの上電への想いや、お持ちの車両や駅の車両を今昔問わずに紹介するコーナーとなっております。

文字数は 200~300 字程度、写真は 1 枚となります。またお名前又はペンネームの紹介もさせていただきます。

投稿ご希望の方は、上電友の会の E メールアドレスにご送信下さい。友の会の皆様の投稿をお待ちしております。

発刊 上毛電気鉄道 友の会

WEB <http://www15.wind.ne.jp/~joden/supporters/>

E-mail joden-support@kl.wind.ne.jp